

## 船舶事故調査報告書

令和元年5月15日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 佐藤 雄二（部会長）  
 委員 田村 兼吉  
 委員 岡本 満喜子

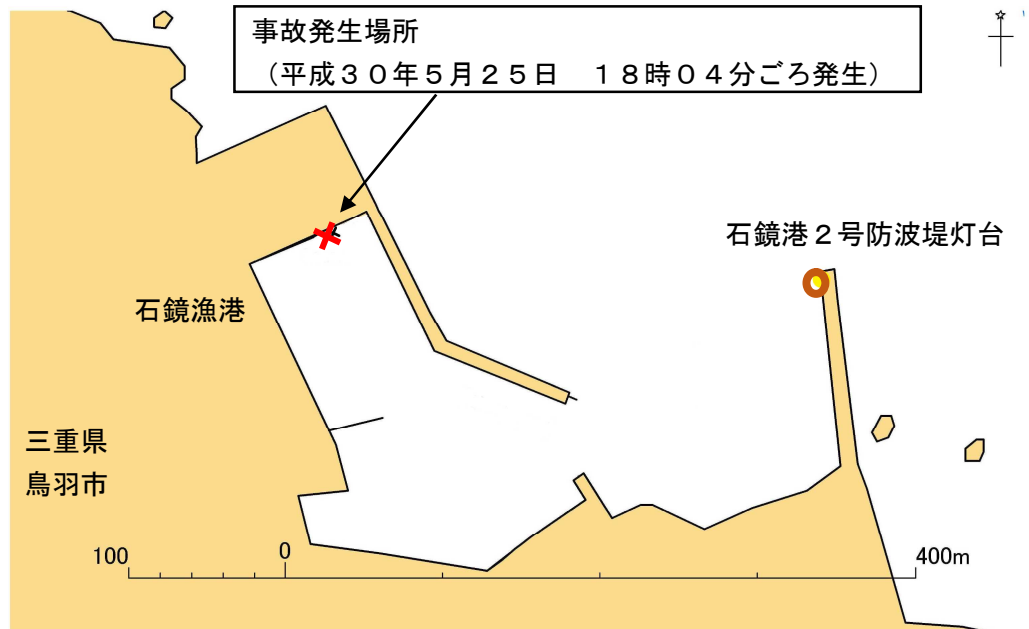
事故種類	火災
発生日時	平成30年5月25日 18時04分ごろ
発生場所	三重県鳥羽市石鏡漁港 石鏡港2号防波堤灯台から真方位275°310m付近 （概位 北緯34°26.8′ 東経136°55.2′）
事故の概要	遊漁船第11利久丸は、係留中、操舵室から火災が発生した。 第11利久丸は、操舵室内部に焼損を生じた。
事故調査の経過	平成30年5月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 なお、後日、1人の地方事故調査官を新たに指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	遊漁船 第11利久丸、11トン 243-15107三重、個人所有 11.94m (Lr) × 3.78m × 1.11m、FRP ディーゼル機関、525.95kW、昭和60年3月2日
乗組員等に関する情報	船長 男性 67歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和61年7月15日 免許証交付日 平成28年8月25日 （令和4年4月4日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	操舵室内部に焼損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、鳥羽市石鏡漁港の岸壁に無人の状態に係留中、平成30年5月25日18時04分ごろ同岸壁付近に停車していたバスの運転手が、本船の操舵室から黒煙が上がるのを発見し、地元消防署に通報した。 本船は、地元消防団が消火活動を行い、18時15分ごろ鎮火が確認された。 本船は、操舵室内部の内壁材等が焼損したが、その後修理された。

	(付図1 事故発生場所概略図 参照)
その他の事項	<p>本船は、操舵室左舷側前部の焼損が激しかった。</p> <p>本船は、操舵室前部に、舵輪、GPSプロッター等の航海計器を設置する合板製の操縦台が取り付けられ、操縦台の天板下の左舷側には、操舵室の真下に位置する機関室前部に設置された電動リールの駆動用の直流12Vバッテリー（以下「本件バッテリー」という。）から導かれた電気配線（以下「本件電気配線」という。）が敷設されていた。</p> <p>本件電気配線は、電動リールを駆動する目的で、操舵室の左舷側側壁を貫通して設置されている電動リール駆動用端子ボルト（以下「本件端子ボルト」という。）に接続されていた。</p> <p>本件電気配線は、配線用遮断器（電線が短絡等の要因で過電流が流れることで接続が切れ、電線を保護するために用いる遮断器）が、端子ボルトと本件バッテリーとの間に設置されていた。</p> <p>電動リールを駆動する際、電源コードで電動リールと本件端子ボルトを接続するが、本事故当時、接続されていなかった。</p> <p>本件電気配線は、船長がホームセンターから購入して自身で敷設しており、結束バンド等で固縛されておらず、船の振動によって振れる状態であった。</p> <p>本船は、地元消防署によって火元探索が行われた結果、本件電気配線に一次痕があり、高熱で溶けた配線用遮断器が本件電気配線に接続された状態であったことが認められた。</p> <p>(付図2 本件電気配線概略図、写真1 本件端子ボルトと電源コード、写真2 操縦台(修理後)、写真3 電動リール 参照)</p>
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	あり
気象・海象等の関与	なし
判明した事項の解析	<p>本船は、石鏡漁港の岸壁に無人で係留中、本件電気配線が短絡したことから、火花が出て付近の被覆材が発火し、周囲の可燃物に延焼したしたものと考えられる。</p> <p>本船は、本件電気配線に一次痕があったことから、船の振動によって繰り返し何かに接触して被覆材の表面が破損し、銅線が短絡した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が石鏡漁港の岸壁に無人で係留中、本件電気配線が短絡したため、火花が出て付近の被覆材が発火し、周囲の可燃物に延焼して発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気配線は結束バンド等で固縛し、船の振動により、被覆材が接</li> </ul>

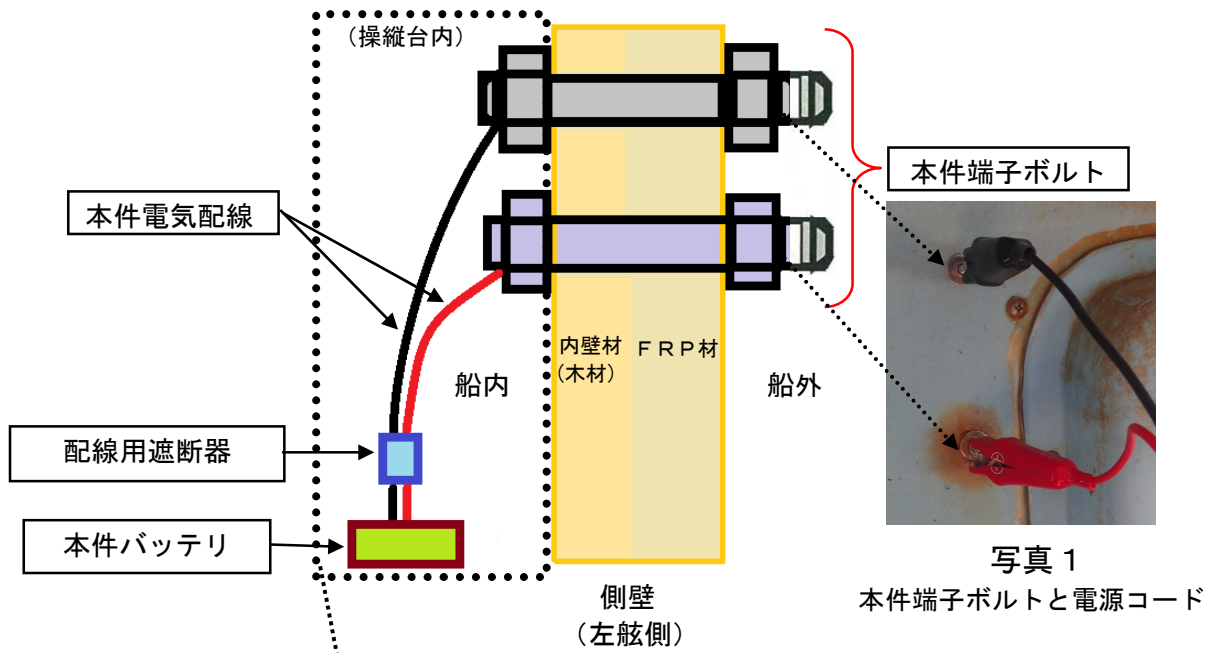
触して破損するのを防止すること。

- ・ 専門業者等による定期的な電気配線等の点検を行うことが望ましい。

付図1 事故発生場所概略図



付図2 本件電気配線概略図



本件電気配線が敷設されている場所 (操縦台内)

写真2 操縦台 (修理後)

出火場所 (操縦台内)



電動リール本体

写真3 電動リール

電源コード

